

文部科学大臣杯・国土交通大臣杯
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2024 実施報告書

実行委員長 佐藤 公俊
(一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟理事)

はじめに

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会は、全国の連盟登録ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラー達が一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合いその向上を図るとともに、海外チームとの交流により国内ジュニアセーラー達が国際感覚を磨き、その視野をひろげ、また地元地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙普及させて、生涯スポーツとしてのヨットの発展に貢献することを期して当連盟が主催して毎年実施しています。

本競技会は文部科学大臣杯、国土交通大臣杯が授与される国内唯一の大臣杯タイトルレースです。また一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下 JJYU）の名称、設立趣旨にもありますようにクラブとして参加頂いて、クラブ対抗レースの上位クラブには連盟の主催する海外セーリング研修参加資格を授与するという会長特別賞を設けており、ジュニアヨットの普及とクラブ同士の親睦、そして国際交流を目的に開催する競技会です。

本年は海外から招待のタイランド・韓国 2 チームと国内は東北・関東・四国から 7 クラブが参加して、7 月 26 日から 28 日まで千葉県稲毛ヨットハーバーにて競技会を開催しました。海外 2 チーム・国内 7 クラブの選手 61 名、指導者・父兄 72 名を迎え、運営役員 64 名を合わせて総勢 197 名の規模となりました。

競技会参加者全員による携帯電話ラインオープンチャットを使用して、競技会期間中の連絡、レース結果報告等を行うことによりコロナウィルス感染対策を実施しました。競技会期間中は感染発症・事故等もなく無事競技会を終了する事ができました。



千葉県稲毛ヨットハーバー

練習会

競技会レースに備え7月26日は練習会としてトライアルレースを実施。役員による運営体制の確認を行い本レースに備えました。風も安定しており、チャーター艇での練習としてもよい機会でした。トライアルレースをおこなう事が出来ました。

開会式

今年の競技会は千葉県稲毛ヨットハーバーにて初めての開催となりました。開会式はハーバー管理棟(クラブハウス)2Fの講習室にて選手・指導者及び保護者・大会役員の方々にもご参集頂き、予定通りに開催する事が出来ました。

開会式は千葉県セーリング連盟副会長斉藤威様の競技会開会宣言、JJYU会長の石原伸晃競技会会長挨拶と続きました。

続いて恒例の少年ヨット憲章「山中湖宣言」を石原伸晃会長立会いの下、千葉ヨットビルダーズクラブジュニア(田淵勇帆、酒井泰地さん)・葉山町セーリング協会(松岡明日香、長岡美都さん)の4選手たちが力強い言葉で表現してくれました。開会式終了後に安全講習会、競技運営説明会を行いました。



千葉県セーリング連盟斉藤威副会長の競技会開会宣言 JJYU 石原伸晃競技会会長挨拶



恒例の少年ヨット憲章「山中湖宣言」

国際交流会

国際交流会は開会式会場そのままの講習室において、参加者はケイタリングの食事を楽しみながら海外チームとの記念品交換、各クラブの紹介などなごやかに繰り広げられました。今回もアトラクション等は無かった為、選手・保護者・指導者や大会役員同士の交流に特化した楽しい交流会となりました。



いわきジュニアヨットクラブ



江の島ヨットクラブジュニア



江東区立小中学校セーリング部



B&G 高松海洋クラブ



千葉ヨットビルダーズクラブジュニア



葉山町セーリング協会



夢の島ヨットクラブ



Jeonnam Sailing Federation (韓国チーム)



Yacht Racing Association of Thailand (タイチーム)



A 海面のレース状況

A 海面ではOP 級上級者クラスに7 クラブから43 人の選手が参加し、ILCA4 クラスでは5 クラブから5 人の選手が参加しました。海外チームはOP 級上級者クラスにタイチームから3 名、韓国チームから2 名が参加し、ILCA4 ではタイチームから1 名、韓国チームから1 名が参加しました。

今回のレース運営は千葉県セーリング連盟の全面的な協力と東京都セーリング連盟の協力もいただきながら、初めてドローンマーク3 つを使って風上マークと風下のゲートマークを設定し実施しました。

また 27 日(土)、28 日(日)ともに気温が 35 度以上となる猛暑日が予定されていたので、熱中症予防のため海上でも水分の補給とお昼は休憩・昼食をとるため一度陸上に戻すようにしました。

レース初日(27 日)は風が弱かったのではばらくはハーバーで風待ちしていましたが、9 時過ぎには西から風が吹き始めたので出艇し、ILCA4 は 10 時 10 分、OP 級上級者クラスは 10 時 17 分に第 1 レースをスタートしました。その後はコンスタントに 4~5m/s の風が吹いていたので、ドローンマークを使って上下のソーセージコースを続けて 3 レースを行いました。風の振れに合わせてのコースチェンジもドローンマークだったのでたいへんスムーズに運営できました。昼食後第 4 レースはトラペゾイドコースを行いました。風のシフトもありスタートを延期し午後 3 時過ぎにスタートしましたが、途中で風が落ちたこともあり第 5 レースは翌日に持ち越しました。

レース 2 日目(28 日)は何とか 3 レースを実施できるように風が弱い中、早めに出艇して ILCA4 は 9 時 42 分、OP 級上級者クラスは 9 時 48 分にスタートしました。風速が 2~4m/s の中、上下 500m のソーセージコースで行いましたが風が徐々に南にシフトしてレース運営も難しい対応となりました。この日は 12 時以降レースができないこともあり、最後の 7 レース目は OP 級上級クラスが 11 時 35 分にスタート、最終艇は 12 時 7 分にフィニッシュしました。

2 日間のレースの中で、ILCA4 はセール番号 227070 の江の島ヨットクラブジュニア岩波選手がオールトップで優勝し、タイのポラムット選手が第 2 位で続きました。

OP 級上級クラスでは上位 7 位までの選手が交互に 1 位を取りました。第 2 レースにトップクラス 3 名の選手が UFD になりましたが、そのレースをカットレースにしてセール番号 3440 の江東区立小中学校セーリング部上條選手が昨年和歌山大会に続いて 2 連勝しました。第 2 位にはセール番号 3389 の夢の島ヨットクラブ中村選手が続き、第 3 位はタイチームのピリン・カンサラック選手となりました。

一昨年までは 8 月初旬に行われていたこのレガッタは、昨年に続き今年も 7 月末に実施しました。丁度梅雨明けの猛暑の中、風も弱風の中での 7 レースでしたが、熱中症での重症者も大きなけがもなく無事に終了することができました。千葉県セーリング連盟の熱心なレース運営と参加選手の保護者皆様のご協力に感謝申し上げます。



スキッパーズミーティング



出艇申告



ILCA スタート



韓国チーム



タイチーム



OP 級上級者 スタート



上マークの攻防



上サイド



下マーク回航



トップ艇フィニッシュ



B 海面のレース状況

稲毛ヨットハーバー港口よりすぐ前、稲毛の浜沖にて OP 級初級者のレースを実施。6 クラブ 12 名（男 9 名、女 3 名）の参加がありました。

初日の 27 日は定刻 08:30 に運営艇はドックアウト、風が安定するまで若干の風待ちを行い 310° 4knt の風で 9:30 D 旗掲揚、レース艇は一斉に出艇しました。微風の割には比較的風向が安定していたため、10:00 オレンジ旗掲揚 10:10 第 1 レースオールクリアにてスタートしました。

第 2 レース、風向は若干左に振れ 290° 5knt と風速も上がり 11:00 にオレンジ旗掲揚。11:10 にオールクリアに

てスタートしました。風上航が向い潮となり、1レース目よりレース時間は長くなり2艇がDNF。

第3レースは270° 4kntと風向がさらに左へシフト。11:50にオレンジ旗掲揚、12:00オールクリアにてスタート。12:28にトップ艇フィニッシュ後AP-Hにてハーバーバック、ランチタイムとしました。

午後は14:00シグナルボートドッグアウト、既に風向は240°までシフト。

第4レースは14:30オレンジ旗掲揚14:40オールクリアにてスタート。

第5レースは風向が同じで15:21オレンジ旗掲揚、15:31のスタート。追い潮と少しレースに慣れ前に出たい気持ちの先行したのかリコール艇有、その後解消した艇は圧巻の走りで追い上げて上位フィニッシュとなりました。15:52にトップ艇フィニッシュ、直後にAP-A旗掲揚し初日の日程を終了しハーバーバックしました。

2日目の28日は9:00 D旗掲一斉に出艇。風向は240° 4knt

第6レース9:40オレンジ旗掲揚、9:50オールクリアにてスタートし本大会初全艇フィニッシュできました。

第7レース目は210° 6knt、10:27オレンジ旗掲揚本大会初のゼネラルリコール。仕切り直したスタートもリコール艇ありましたがその後解消しました。

最終レースも全艇フィニッシュし、2日間に及ぶ大会を終了しました。初級者セーラーは大会期間でも成長著しく、帰港したジュニアセーラーの満足気な笑顔が物語っていたと思います。



OP級初級者 スタート



上マーク



サイドのジャイブ



下マークアプローチ



1、2 位のフィニッシュ

海外招待チームの状況

7 月 26 日練習会前に海外チームへチャーター艇を提供。選手・コーチとテクニカル・チャーター艇委員がチャーター艇備品をチェックして、各選手はそれぞれ艀装を開始しました。

7 月 27、28 日のレースではコーチ艇に乗船した海外チームコーチ・父兄が海外選手のセーリングを観戦、当競技会を非常に楽しんでいました。競技会終了後タイランド・韓国各コーチから、今回競技会に参加した選手はレースのみならず日本選手との交流でとても喜んでおり、来年もぜひ参加したいとお言葉をいただきました。

医療救護部 総括

競技会期間中の気温は 35℃を超えていましたが、熱中症になった選手もなく安全に競技会を開催できましたと思います。2 日目に運営委員 1 名が軽い熱中症になりましたがその後回復、元気になりました。

閉会式

競技会最終日も良い風に恵まれ A 海面 3 レース・B 海面 2 レース、2 日間で予定した合計 7 レースを実施しました。レース後の運営は全てがスムーズに進み、艇の片づけや帰り支度をしながら 16 時の予定より 1 時間早く 15 時に閉会式を開始することが出来ました。小野澤秀典競技会レース委員長より成績発表、表彰に移り伊藤雅宣競技会副会長より特別表彰の小澤吉太郎特別賞を千葉ヨットビルダーズクラブジュニアへ、引続き団体表彰（国内・海外）個人表彰（国内・海外）となりました。表彰後、松原次夫プロテスト委員長よりレース講評、クラブ対抗レース最高順位海外チーム Yacht Racing Association of Thailand の Meeyousamsen コーチにご挨拶を頂きました。最後に塩野崎英二競技会委員長の競技会終了宣言にて無事閉会式を終える事が出来ました。



小野澤秀典競技会レース委員長より成績発表



小澤吉太郎特別賞の千葉ヨットビルダーズクラブジュニア



松原次夫プロテスト委員長のレース講評



タイチームの Meeyousamsen コーチ

主な成績

1.JJYU 特別表彰

①小澤吉太郎特別賞 千葉ヨットビルダーズクラブジュニア

②団体表彰 国内クラブ対抗レースの上位3クラブに JJYU 主催の海外セーリング研修参加資格を授与し、海外渡航費の一部を援助します。

第1位 江の島ヨットクラブジュニア

第2位 江東区立小中学校セーリング部

第3位 葉山町セーリング協会

③団体表彰 クラブ対抗レースで最高順位の海外チーム

タイランドチーム (Yacht Racing Association of Thailand)

2.個人表彰

①OP 級上級者

第1位 上條 正弘 江東区立小中学校セーリング部

第2位 中村 海翔 夢の島ヨットクラブ

第3位 平澤 海翔 江東区立小中学校セーリング部

第4位 中田 琴海 江の島ヨットクラブジュニア

第5位 今井 晴也 葉山町セーリング協会

第6位 三浦 太輝 夢の島ヨットクラブ

②OP 級初級者

第1位 椎名 悠貴 江の島ヨットクラブジュニア

第2位 川北 華子 B&G 高松海洋クラブ

第3位 阪間 俊仁 江の島ヨットクラブジュニア

第4位 水本 真人 江東区立小中学校セーリング部

第5位 今井 創也 葉山町セーリング協会

第6位 岩波 由夏 江の島ヨットクラブジュニア

③ILCA 4

第1位 岩波 将吾 江の島ヨットクラブジュニア

第2位 鈴木 菜央 千葉ヨットビルダーズクラブジュニア

第3位 和田 悠希 江東区立小中学校セーリング部

3.国際交流個人表彰

①海外参加選手 OP 級上級者

第 1 位 Prin Kantharak

Yacht Racing Association of Thailand

第 2 位 Kram Chantarawinij

Yacht Racing Association of Thailand

第 3 位 Kang Jiwon

Jeonnam Sailing Federation

②海外参加選手 ILCA 4

第 1 位 Poramut Srisawaddisrilodom Yacht Racing Association of Thailand

第 2 位 Shim Hajin Jeonnam Sailing Federation



国内クラブ対抗レースの上位 3 クラブ



OP 級上級者上位入賞者



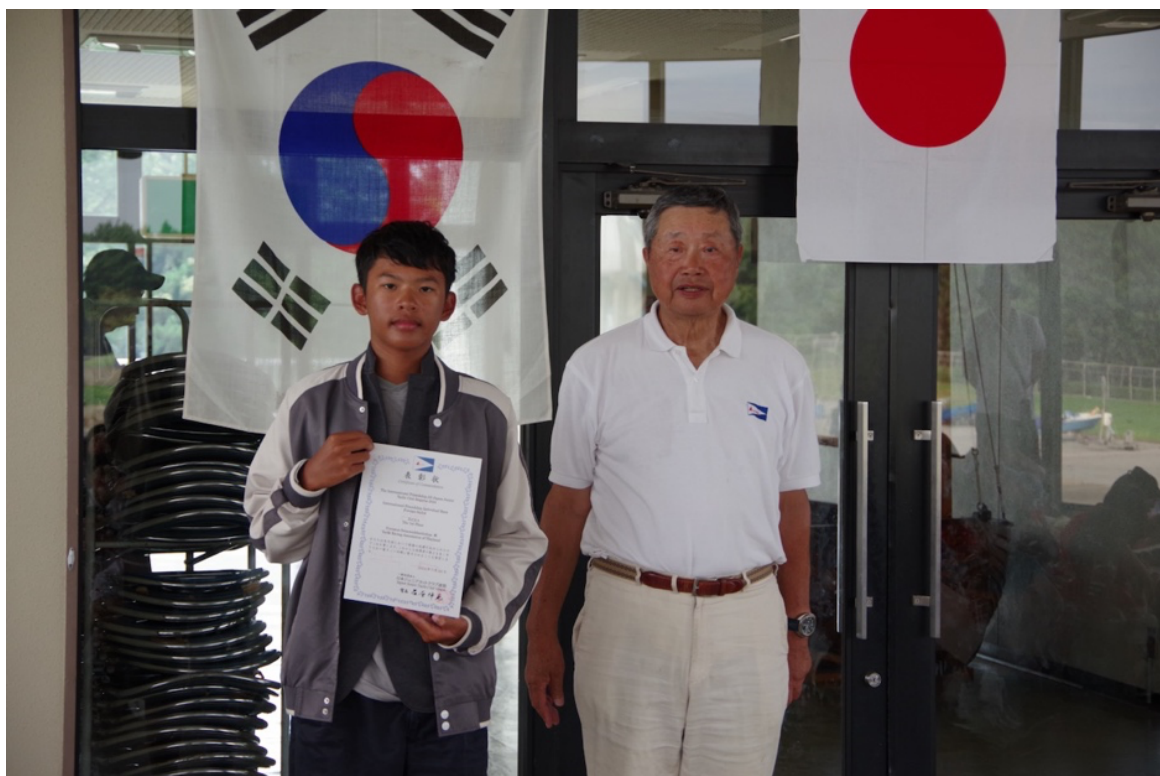
OP 級初級者上位入賞者



ILCA 4 上位入賞者



海外参加選手 OP 級上級者 第 1 位 Prin Kantharak さん



海外参加選手 ILCA 4 第 1 位 Poramut Srisawaddisrilodom さん